想

## 林原美術館所蔵岡山藩学校署遍本紙と現代の学校教育

## 内 池 英 樹

小稿は、この資料を紹介しつつ、現代の学校教育を考え てみたい。 まずは、 写真 (次頁掲載)をご覧いただきたい。この

等の授業を行っていた。学校は現在の岡山市北区蕃山(3)(六六九)に開校させ、藩士子弟に対して、朱子学や武芸 り上げているものである。 が、 町にあり、講堂や校門・外門等があった。 月の岡山大空襲の際に池と橋を残して消失してしまった 岡山藩学校は、 その外門に掲げられていた扁額の本紙が、 藩主池田光政が命じて、 昭 寛文九年 和二〇年六 小稿で取

> 書かれている様子は、 感じる。一文字が約五〇㎝四方で、白い紙の上に隆隆と する熱意と鋭さ、そして気迫が満ちあふれてくるように 何とも言えない迫力がある。

くの人々の期待が集まっていた証拠だろう。 堂に中江藤樹の書いた「至聖文宣王」を掲げている。 になっていたと言われる熊沢蕃山が来校し、 はないか。ちなみに、 校設立の中心になっていた人物が佐々木に依頼したので ら考えると、藩学校建設に直接当たった津田永忠等、学 の肝煎りで作られた岡山藩学校の門に掲げられたことか 依頼した人物等ももちろん分からないのだが、池田光政 佐々木志津磨と岡山藩との関係は、よく分からない。 藩学校開校の日には、 藩学校の講 光政と疎遠

わずか二文字ではあるが、この作品からは、

学問に対



岡山藩学校署遍本紙((財) 林原美術館所蔵)

抱えていることを示していることが多い。 すると見逃されがちだが、下駄箱がきれいに整頓され るのかを把握できる非常に重要な場所なのである。とも 生徒の下駄箱は、その学校がどのような状況になってい 機会が多い。実は、玄関やその横に置かれている児童 関に掲げたい」と感じた。仕事柄、 いる学級は安定しており、 (決して児童生徒だけではなく指導する教師の場合もある) 乱雑な学級は何らかの問 小・中学校を訪れる を 題

呼びかけ、その成長を見守っていたのである。 下校する生徒たちに学ぶことの喜びや大切さを、 重要施設として開校した岡山藩学校の門に掲げられ、

静かに

私自身がこの書を見たときに、「ぜひ現代の学校の玄

か。 そろばん」とともに、大切にされるべきではないだろう 礎であり、 生で指導される内容は、その人の一生を支える大切な基 筆や箸の持ち方、 ぶことの喜びや大切さを伝えられるのではないかと思う 勉強しなさい」と呼びかけるよりも、子どもたちに学 いくら外見を整えても、中身がなくては本末転倒であ そのような場所にこの字が掲げられていたら、 学校は基本的な人間形成の場であるべきだろう。 漢字や和算乗除の計算などの「読み・書き・ 勉強をするときの姿勢等、小学校 声高に

分についての指導が行われていたのである。う人材育成の場では、前述のような人として基礎的な部に礼節についても学問をする場となっていた。次代を担話がそれてしまったが、岡山藩学校では朱子学ととも

らの教育に生かしていけるようにしたいものである。との教育を見つめることで、現代教育に活かせる事柄がある言葉が示すように、江戸時代に行われていた岡山藩での教育を見つめることで、現代教育に活かせる事柄があるはずだと、私は考えている。簡単な資料紹介に終わってしまうが、往時の人々の教育に対する熱意を、これかてしまうが、往時の人々の教育に対する熱意を、これかるはずだと、私は考えている。

話

- (2) (財) 林原美術館が所蔵しており、二○○七年二月一(2) (財) 林原美術館が所蔵しており、二○○七年二月一

□R□ http://www.hayashibara.co.jp/html/bizyutu/

index.html

また、近年の研究としては、倉地克直「遺構と絵図」教育史』(ひろたまさき、倉地克直編著、一九八八)教育史』(ひろたまさき、倉地克直編著、一九八八)の山県教育会著、一九八一)、『岡山県教育の山藩学校や岡山藩の教育については、『岡山県教育

《 ゞ『引气打影』方台。 の教育」の図録も参考になる。図録は、同館ホーム九月に開催された岡山大学附属図書館企画展「岡山藩山地方史研究』一一四)等の研究がある。二○○九年中、藤田則之「窪田善之介の新暦御用について」(『岡山地方史研究』一一三・一一四、二○○七~○八)

URL http://www.lib.okayama-u.ac.jp/ikeda/pdf/ページで閲覧可能である。

て謝したい。
料や佐々木志津磨に関して様々なご意見をいただいた。記し料や佐々木志津磨に関して様々なご意見をいただいた。記し許可をいただいた。また、同館学芸員浅利尚民氏からは、資調辞】作成に当たっては、林原美術館より資料提供及び掲載

(地域史研究者